



準備し対処しなくてははいけません。

『極力人との接触を防ぐこと』は、イコール経済活動にブレーキを掛けるに近いので、さまざまな業界にお金が回らず、財政的な基盤の弱い中小企業は「餓死」してしまう可能性が高い。

また需要はあっても生産するための部品が届かなくなったりと、飛び火による連鎖倒産だって起こりえます。コロナ・エフェクトは時間差で私たちの生活を次々と脅かしていくのではないかと危惧しています。失職者が多く出てくる。

ただすべての業界が瀕死状態になっている訳ではありません。この危機をビジネスチャンスと捉え、業績を伸ばしている企業もあります。どんな時代も、環境に適合した企業が生き延びるので、できるだけ早くこの状態に適合するべく必要ならば『変態』することが求められていると思います。

経済統計は、平均値でしかないので、マイナスが出ると全部が悪くなったと勘違いしてしまいがちですが、きちんと見るとプラスだってあるはず。これから、不況になるのだと思いますが、その『不況感』に飲み込まれないようにしなくてははいけません。

企業にしても、個人にしてもできることは限られています。

「支出を抑える」「収入を増やす」これだけです。その方法を各人が必死になって考え、実行できる人や企業が生き残るのだと思います。

生き残る企業は、傷ついた社会を修復する責務を持ちます。中世におけるペストの大流行で全世界で7000万人の命が失われたそうですが、それを乗り越えてルネサンス文化を开花させてように、新たな文化の創造がされるのだと思います。

(ありがたいことに、現在はペストに効果のある抗菌剤があるそうです。)

医療・科学の進歩は目覚ましく、中世のペストをイメージする必要はないでしょうが、技術革新により人の動きが世界を一つにしたことから急激に広まったコロナに人類は今まで経験をしたことのない次元の対応が求められるのでしょう。

パスファインダーには、多様性（ダイバーシティ）が求められます。

当研究所は、日本で学んでいる留学生が皆さまと共に戦うことのできるパスファインダーになれると考えています。

## 2 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

皆さまと「あの頃は大変でしたね。」と笑って話せるときまでお預けです。

### (1) 《第19回 globalforce circle セミナー》延期のご報告

---

2020年2月26日に予定をしておりました、

目的達成のためのダイバーシティとの共生





- 
- \*\*\*\* 異文化コミュニケーション研究所(R) \*\*\*\*
  - ~ 日本を世界中の優秀な人財が活躍する国にする ~
  - 
  - 企業の生き残り・革新のために、『人財の多様性』は不可欠です。
  - 
  - 弊社は、白羽の矢を立てるべきは「外国人留学生」だと考えます。
  - 日本語が使える、日本文化に造詣がある「優秀な留学生」が日本には
  - たくさんいます。そして、彼らは日本で働きたいと思っています。
  - 
  - 多様な異文化視点を持つ globalforce(高度外国人財)を活用する
  - ことで、「新たな価値の創造」につなげることができます。
  - "globalforce"は企業にとって貴重な人財です。
  - 
  - しかし、多様性を受け入れることはチャレンジングなことです。
  - 一筋縄ではいかない。障害物競走のように、いくつもハードルを超
  - えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで
  - 企業のチャレンジをお手伝い致します。

---

※本メールは、当研究所関係者と名刺交換をさせて頂いた方、セミナー等にご参加頂いた方々等、ご縁を頂いた方々にお送り致しております。

いつもありがとうございます。

---

「」「」異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)  
「」「」 <http://www.globalforce.link>  
「」「」 横浜市神奈川区青木町 3-15 SS ビル 201 号室  
「」「」 Tel:045-307-8248(代) FAX : 045-461-1577  
「」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

---

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)